

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成20年12月
鹿児島県鹿児島市

I. ポイント

○計画期間;平成19年12月～平成25年3月(5年4ヶ月)

(1)概況

「歩行者通行量」「中心市街地の年間入込観光客数」とともに増加した。特に「歩行者通行量」については、これまでの減少傾向から6年ぶりに増加に転じ、平成20年4月に供用を開始した子育て支援施設「親子つどいの広場」の効果や、平成19年6月に設立された商店街・老舗百貨店・飲食店・町内会等の多様な主体から構成されるWe Love天文館協議会が実施する各種イベントが市民に浸透してきているものと考えられる。

また、大河ドラマ「篤姫」の放映を生かした各種観光施策も順調に実施されている。平成20年1月に設置した篤姫館の入館者数は、当初の目標の2.5倍である50万人を既に突破した。そのほか、カゴシマシティビューの乗車数が前年度比43%増、維新ふるさと館の入館者数が前年度比19%増となっており、篤姫を生かした施策の効果が確実に表れている。

基本計画の掲載事業が概ね順調に実施されている一方で、三越鹿児島店の営業終了(平成21年5月)の決定や中心商店街であるいづろ・天文館地区の空き店舗率が上昇している。

(2)目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (年)	目標値 (H24年)	最新値 (年)	見通し
まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上	歩行者通行量 (20地点、土日)	125,531 人/日 (H18)	150,000 人/日	128,184 人/日 (H20)	②
九州新幹線の開業効果を生かした観光の振興	中心市街地の 年間入込観光客数	6,801 千人 (H18)	8,000 千人	6,927 千人 (H19)	⑤
南九州随一の中心市街地の商店街活性化	小売業年間商品販売額	209,421 百万円 (H16)	210,000 百万円	平成21年度 フォローアップ予定	

注) ①: 事業等の進捗状況が極めて順調であり、相当程度の余裕をもって目標達成可能であると見込まれる。

②: 事業等の進捗状況が概ね予定通りであり、目標達成可能と見込まれる。

③: 事業等の進捗状況が予定通りではないものの、依然として、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④: 事業等の進捗に相当程度の支障が生じており、目標達成が困難と見込まれ、今後対策を講じる必要がある。

⑤: 事業等が実施されていないため、今回は評価対象外。

<達成状況の評価及び見通しの理由>

i 「歩行者通行量」について

- ・ イオン鹿児島店をはじめとする大型ショッピングセンターの開業後初めての調査であるが、これまで減少傾向にあった歩行者通行量が6年ぶりに増加に転じたことから、概ね順調に進捗している基本計画掲載事業が効果的に実施されているものと評価できる。

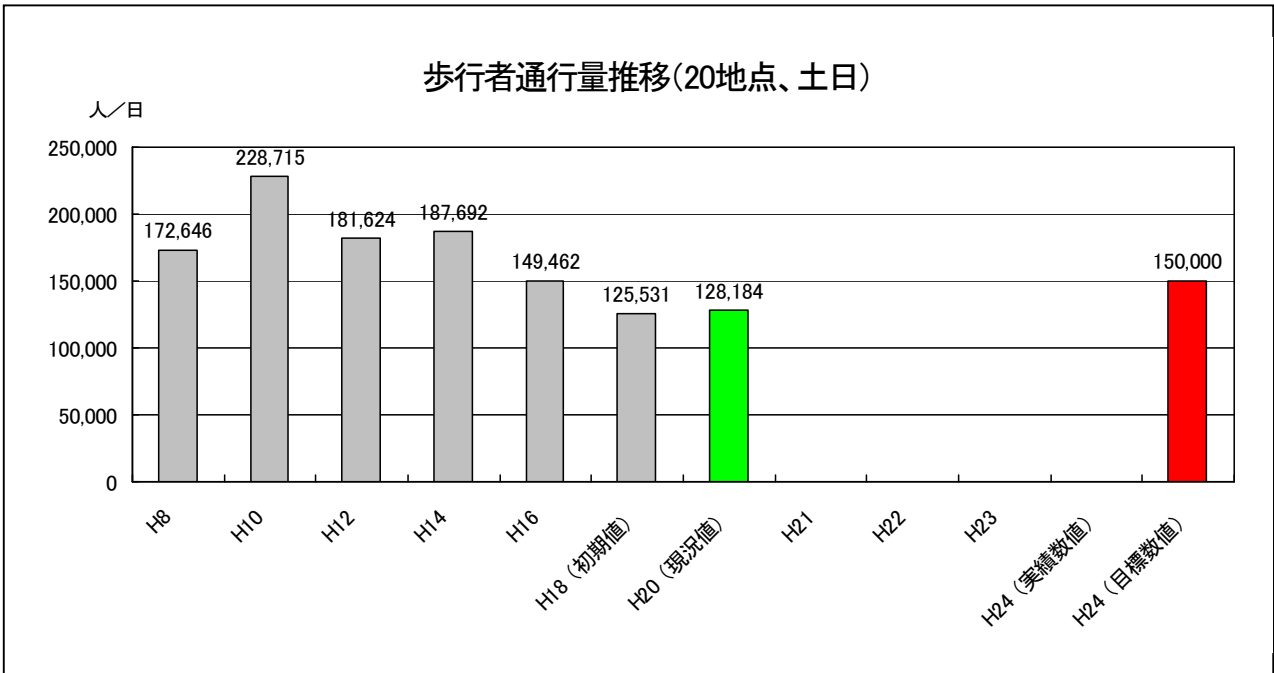
- ・ 集客拠点である老舗百貨店山形屋の増床整備事業が概ね順調に進捗しているほか、平成23年春には九州新幹線の全線開業により確実に交流人口が増加することから、目標達成は可能と見込まれる。
- ii 「中心市街地の年間入込観光客数」について
- ・ 大河ドラマ「篤姫」放映前の観光統計（平成19年）であるが、基本計画に掲げる事業も概ね順調に進捗しており、年間入込観光客数は増加している。
 - ・ 平成20年は、大河ドラマ「篤姫」放映を生かした事業の実施により大幅な観光客数の増加が見込まれる。
 - ・ 平成23年春の九州新幹線の全線開業を見据え、掲載事業を計画どおり着実に推進することで、目標達成は可能であると見込まれる。

(3) 今後の対応

- ・ 基本計画に掲げる事業を着実かつ円滑に推進するとともに、九州新幹線の全線開業を見据え、「篤姫」効果による交流人口の増加などの追い風を生かしながら、持続可能でにぎわいと活気のある中心市街地の実現に向けて、市民、事業者、関係行政機関等と一体となって取り組む。
- ・ 空き店舗率の上昇や三越鹿児島店の営業終了など計画策定時には想定されなかった事柄に対しては、中心市街地活性化協議会や地元商店街等と連携しながら必要に応じて新規事業の追加も含めて検討していく。

II. 目標「まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上」

II-1. 数値目標の達成状況（「歩行者通行量」→目標設定の考え方基本計画 P39 参照）



(単位: 人)

年 (調査月)	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20 (10)	H21	H22	H23	H24 (実績 数値)	H24 (目標 数値)
歩行者通行量 (20地点、土日)	172,646	228,715	181,624	187,692	149,462	125,531	128,184					150,000

II-2. 主要事業の進捗状況

- ・ 親子つどいの広場・中町駐輪場複合施設整備事業 平成20年2月完成
- ・ いづろ商店街ショッピングモール化事業 平成20年12月完成
- ・ 歴史ロード“維新ふるさとの道”整備事業 平成20年度着手 平成21年度完成
- ・ いづろ・天文館地区商業活性化事業（山形屋増床整備を含む） 平成20年度着手 平成23年度完成

II-3. 数値目標達成の見通し

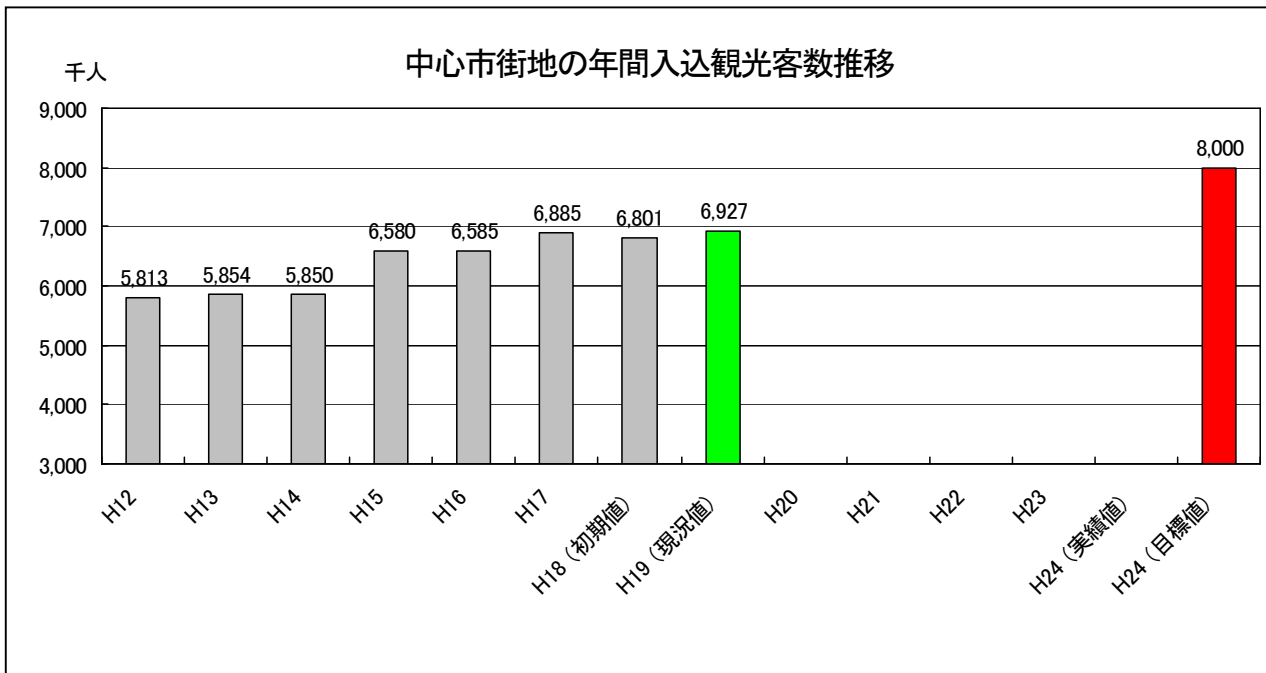
- ・ 集客拠点となる山形屋の増床整備事業など基本計画に掲げる事業が概ね順調に進捗しているほか、We Love 天文館協議会が実施する各種イベントが市民に浸透してきていることから、引き続き基本計画に掲げる事業を着実に推進することで、数値目標の達成は可能であると見込まれる。

II-4. 今後の対応について

- ・ 基本計画を着実かつ円滑に推進するとともに、空き店舗率の上昇や三越鹿児島店の営業終了など計画策定時には想定されなかった事柄に対しては、中心市街地活性化協議会や地元商店街等と連携しながら必要に応じて新規事業の追加も含めて検討していく。

Ⅲ. 目標「九州新幹線の開業効果を生かした観光の振興」

Ⅲ-1. 数値目標の達成状況（「年間入込観光客数」→目標設定の考え方基本計画 P39 参照）



(単位: 千人)

年 (調査月)	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24 (実績 数値)	H24 (目標 数値)
中心市街地の 年間入込観光客数	5,813	5,854	5,850	6,580	6,585	6,885	6,801	6,927						8,000

Ⅲ-2. 主要事業の進捗状況

- ・ 維新ふるさと館体感ホールリニューアル事業 平成 19 年度着手 平成 20 年度完成
- ・ 歴史ロード“維新ふるさとの道”整備事業 平成 20 年度着手 平成 21 年度完成
- ・ かごしま水族館 10 周年記念事業 平成 18 年度着手 平成 22 年度完成
- ・ いづろ・天文館地区商業活性化事業（山形屋増床整備を含む） 平成 20 年度着手 平成 23 年度完成

Ⅲ-3. 数値目標達成の見通し

- ・ カゴシマシティビューや維新ふるさと館の利用者数が増加していることから、大河ドラマ「篤姫」放映を生かした施策が効果を現していると考えられる。
- ・ また、平成 23 年春の九州新幹線の全線開業を見据え、掲載事業を計画どおり着実に推進することで、数値目標の達成は可能であると見込まれる。

Ⅲ-4. 今後の対応について

- ・ 現在実施中の歴史ロード“維新ふるさとの道”整備事業など、九州新幹線の全線開業に向けた基本計画掲載事業を着実かつ円滑に推進していく。
- ・ また、市観光未来戦略に基づき効果的に観光施策を推進し、本市の都市型観光に魅力向上を図るとともに、常に新しい観光の視点による観光都市づくりを進め、交流人口の拡大を目指す。